一人ひとりを大切にする授業の実践

（チェックしてみましょう）　　室戸市立吉良川中学校

- □ チャイムが鳴ってから職員室を出て、授業が終わるとすぐ職員室に引きあげる。
- □ 教室にゴミが落ちていたり、机が乱れていたりしても、そのまま授業を始める。
- □ 具合が悪そうな子どもがいても、声をかけずに、そのままにしている。
- □ 授業中、私語があったり、授業内容と違うことをしていても注意しない
- □ 名前呼び、苗字呼びの混同、あだ名、呼び捨てなど子どもによって呼び方が違う。
- □ 「どうしてこんなことが分からないの」「あなたのせいでみんなが迷惑している」「前の学校（クラス）は良かった」など子どもたちを傷つける言葉を発する。
- □ 子どもが発表するとき、その子どもを見ていなかったり、最後まで聞いていなかったりする。
- □ 子どもの発言が途中でつまったり、たどたどしいときに「考えをちゃんとまとめてから言いなさい」と言ったりして、他の子どもを指名する。
- □ 発言したことに対して、感想やコメントもせず、すぐに「他にないか」と別の意見や考えを求める。
- □ 指名する子どもが、ほぼ決まっている。
- □ 何か言いたそうな子どもがいても、そのまま授業を続ける。
- □ 子どもには直接指導しないで、職員室で悪口を言う。
- □ 子どもが提出したノートやプリント、連絡帳などを開いたまま放置している。
- □ 子どもが相談を持ちかけられても、「忙しいから」とあしらったり、後回りにしたりする。
- □ 遅刻や忘れ物をした子どもに、理由も聞かず注意したり叱ったりする。
- □ 提出期日を守らない子どもの氏名を黒板に書き出す。
- □ 本人や保護者の承諾もなく、作文や日記の内容を話題にしたり、学級通信などに掲載したりする。
- □ 身体的特徴や家庭の状況等子ども自身の努力でどうしようもないことについて、冗談や冷やかしを言う。
- □ 子どもに「あいさつしよう」と言いながら、自らを率先してあいさつしようとしない。
- □ 兄弟姉妹と比較して、ほめたり叱ったりする。
- □ 「世の中から差別はなくならない」など差別を肯定したり、差別の解消に消極的な発言をしたりしうる。

＊「子どもたちの笑顔のために」より